

she said,

いろんな切り口で交流を図って 顔見知りや繋がりがしっかりある 「この街大好き」な心を育てたい



4人の個性がバラバラなのが逆に
よくて、いろんなアイデアが生ま
れ出すと語る森下さん

発端はメンバーの一人、末吉真由華さんが主催する甘酒料理教室。参加した森下奈緒さん、大内美生さん、片桐美貴子さん、そして末吉さんたち4人はほぼ初対面であったが、「南町田って地域の情報が少ないよね」「地域の繋がりがもっと欲しいよね」と意気投合。「何かやろうよ」と、プロジェクトを立ち上げるようになった。

初年度の2018年は、7月に地域イベント「南カフェ」に出席。地域の人たちの口コミで、「この街の素敵なスポット情報」を募り、みんなでつくる「わくわくMAP」を完成させた。「ドリームBOX」では「この街でどんなことを実現したいか」という声を集めた。一番多かったのは「年齢に関係なく、みんなが声かけ合える多世代交流がしたい」という内容だった。

2019年3月には、掘り起こした「特技の持ち主や素敵なお店を集めて「みなまちミニマーケット」を開催。10月末にはエリアMAPが目玉の「みなまち通信」をついに創刊。今後も号を重ね、まちだ南地域の独自のエリア情報を発信していく予定だ。

取材の日も「まちあるき」イベントをやってきました」と声を揃える4人のママ友。彼女たちが2018年2月に結成したのが「まちだ南地域魅力発見プロジェクト実行委員会」。略して「みなまちプロジェクト」。まちだ〇〇と大作戦にもエントリーする、独自の地域おこしプロジェクトだ。

①面白い活動をしている人たちやお店を掘り起こして紹介する。
②「この街大好き」と思えるような新しいイベントを、みんなを巻き込んで作っていく。この2本柱で、プロジェクトは3年計画だ。2018年、まず地域イベントへの参加を通して活動内容をPRし、地域交流を開始。2019年には、南町田グランベリーパークのまちびらきに合せて、南地域のエリアマップや通信を発行する。2020年には集大成として駅周辺エリアで「みなみまちだパークフェス」を開催したいと考えている。

アイデアを出し合って活動を広げつつも、4人で守っていることがある。それは「4人で1人。家族優先で、無理はしない」というスタンス。お互いを尊重し、意見が違っても本音で話し合える関係だ。2020年はいよいよ集大成。地域の人たちと協力してパークフェスの実現に向かう。より魅力的な街づくりに向け、どんなイベントになるのか、大いに期待が膨らむところだ。



左) まちあるきvol4では小川地区の話題のパン屋さんでランチを楽しんだ 中) 仮装した子どもたちがスタンプラリー形式で協力店をまわるハロウィンまちあるき 右) 南町田グランベリーパークの「まちのがっこう祭」でも、わくわくMAPやドリームBOXを設置し、みなまち通信を配布。右ページは左から、森下さん、大内さん、末吉さん、片桐さん。活動拠点としてあるコワーキング喫茶「cosoadot」には口コミ情報を募集する私書箱も設置している

THE まち人

MACHIBITO file 030

地域に
生きる

ママ友たちが意気投合。
町田市南地域の魅力発見と
人と人が繋がる街づくりを
まちだ南地域魅力発見プロジェクト



まちだ南地域魅力発見プロジェクト
<https://www.facebook.com/machidanominami/>